

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域から多くのボランティアの訪問がある。プロの歌手の来訪やセミプロのギター演奏、日本舞踊、フラダンス、フォークダンス、琴、大正琴、マジック等々である。「悠遊荘夏祭り」には、20名ほどの地域住民がボランティアとして参加し、ホームでは手作り弁当50食を用意して来場者をもてなす。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に運営推進会議を開催している。利用者、家族、市の担当者、地域包括支援センター職員、民生委員、近隣住民等をメンバーとして開催し、ホームからの状況報告と目標達成計画の進捗報告に続いて、メンバーによる活発な意見交換がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に参加した市の担当者から、行政としての連絡事項等が伝えられている。法制化された身体拘束に関する事項や防災関係の留意点等である。市の地域交流センター「ぬくもりの里」で開催されるカラオケ大会等のイベントに参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用料金の支払いにホームに足を運ぶ家族が多く、普段から家族のホーム訪問は多いが、運営推進会議への参加者は少ない。機会あるごとに利用者のスナップ写真を撮ってアルバム「悠遊荘の一日」に貼り、完成する度に家族のもとに送っている。遠距離に住む家族にとっては、うれしい贈り物である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎